

笹川科学研究助成と私

大阪大学大学院工学研究科

応用化学専攻 武田洋平

私の申請テーマを笹川科学研究助成にご採択いただきましたのは、2014 年度のことでした。当時の私の状況は、助教に着任してまだ3年目、まさにアカデミックキャリアの駆け出しといった時期でした。テニュアトラック制度での雇用ということもあり、とにかく、自分独自の研究テーマを見出したいと必死でした。幸いにも、最初に指導していた学生さんと試行錯誤の末、全く新しいタイプの有機合成反応を見だし、研究テーマのきっかけは掴んでいました。既存の有機化学反応では構築困難な芳香族分子を合成できるということもあって、今後、どのように展開していったら面白いだろうかと、色々と思いを巡らせている時期でもありました。まさにそのようなタイミングで笹川科学研究助成に採択していただいた時は、「自分のアイデアに投資してもらえたのかも！」と純粋に嬉しい気持ちで一杯でした。本助成に研究の後押しをいただき、ご提案させていただいた研究内容も無事、学術論文にまとめて世に送り出すこともできました。その後も、本助成で得られた研究成果を基盤として研究を地道に続け、最近では有機 EL 素子の量子効率を飛躍的に向上できる発光有機材料の創出につながるなど、新しい展開が見えてきました。関連研究は現在でも私のチームのメインテーマとして脈々と息づいております。そして、博士号取得から10年目という節目を迎える年に、文部科学大臣表彰若手科学者賞をいただける機会に恵まれました。このような栄誉ある賞をいただきましたのも、貴財団から研究者としてまだ駆け出しで未熟であった私に快くご支援いただきましたおかげです。この場を借りて、共同研究者の皆様をはじめ、関係の皆様にも深く感謝申し上げます。